

質疑4 高額滞納者更正減額の処理について

高額滞納者のリストの中には、26年間にわたり納税しておらず、その総額は7,300万に達する。それに対し市側は平成16年度以降の固定資産税を更正の上減額処理しているが、これは不適切と言える。今後は、厳正かつ適切に処理することを強く指摘する。

質疑5 産業文化会館及び中心市街地再開発事業について

平成21年4月に閉館して3年、産業文化会館の維持管理費として年間400万円を払い続け、しかも不用額が100万円以上も発生している現状の中でいまだ具体的な事業進捗が見られない。これ以上熊本市花畑地区開発協議会だけにまかせておいてはとも期待は出来ないの、方向性をしっかりと決め事業の進捗に向け行政主導を進められることを強く要望したい。

くまもと未来

質疑1 平成23年度決算における財政指標(※5)及び健全化判断比率(※6)から見た本市財政の現状について

財政指標から、財政基盤がきわめて弱く、財政構造の硬直化が指摘されている本市の財政。財政負担が膨らみつつあり、借金など将来負担も大きい現状をどう考えているのか。また税源涵養の面で不可欠な本市中小企業の振興について、積極的に取り組む姿勢をより明確にすべきではないか。

質疑2 固定資産税及び都市計画税の課税ミスについて

全国97%の自治体で課税ミス。本市の状況は、今後の対策は。

質疑3 債権の管理について

各債権の管理を一本化し、情報を集約する専門部署が必要。

質疑4 待機・保留児童解消について

働く為に預けたい人には生活に支障がある。子育て世代に選ばれる対策が必要。

質疑5 決算状況報告書について

23年度決算に関する決算状況報告書は、その内容・構成ともに報告書というにはあまりにお粗末である。また、事業の未達成の要因を書けていないのは、自らが行った事業に関して検証と分析が出来ていないということではないか。次年度以降の決算状況報告書をどのような形にしていくのか。

市民連合

質疑1 税の不納欠損と対策について

高額不納欠損処分調書をみれば上位10傑で1億700万の欠損。1位が1,900万となっている。注目すべきは、単年度の滞納でないことである。高額になったの納税は大変である。したがって、企業の倒産などによって徴収困難になる前の初期段階での未納対策が重要であると考え。本市の初期未納対策はどのようになっているのか。

質疑2 食肉センターの機能一体化に関する不用額について

食肉センターの機能を七城町の畜産流通センターへ移転する

ための平成23年度予算は総額12億円を超える巨額であったが、決算で不用額と計上されている。なぜこのようなことになったか経過説明と所感を求める。

質疑3 産業振興資金会計の不用額について

産業振興資金会計において農林と畜産の資金融資事業は、利用状況が低調である。融資制度の改善が必要ではないか。

公明党

質疑1 商店街買い物弱者対策事業費補助について

買い物弱者増の歯止め、商店街の活性化のためにも事業費補助率を拡充すべきである。また、単年度だけでなく、数年間の継続した補助を行い、事業の独立のために行政がしっかり関わっていくべきである。

質疑2 自主防災活動推進事業・防災拠点施設等の整備事業について

災害時に住民がとるべき避難行動等も含め、避難発令のわかりやすい表現方法や情報の伝達手段について検討し、市民の皆様が実際に「避難行動」に結びつくような情報発信を行っていただきたい。

質疑3 特別支援教育等「教職員の専門性の向上」と「若年者就活支援塾」の推進について

子どもたちに直接関わる教職員が、障がいの特性や専門的な知識を高める為「スキルアップ長期派遣研修」を通して教員の資質向上を図る。また次世代を担う若者の人材育成「若年者就活支援塾」の充実強化を求める。

共産党

質疑1 奨学金について

経済的な理由で学業を断念することがないように、借りやすい制度へと市奨学金の拡充、年度途中からの貸付を。

質疑2 中心市街地の再開発について

事業見通しの示せない花畑町再開発は中止すべき。

質疑3 ごみ有料化について

有料化では時間とともに減量効果は薄くなる。料金を引き下げ、市民・事業者との協働でゴミ減量を。

自由クラブ

質疑1 夏休みプール開放時の事故発生と監視員配置経費の補助について

教育委員会は、プール開放実施を保護者任せでなく児童の安全確保のため主体的に取り組むべき。補助金を増額し専門的監視員を配置するなど、再発防止の具体策を講じるべき。

※総括質疑の会派ごとの掲載スペースは、質疑の会派持ち時間により割り当てられています。

～締めくくり総括質疑から～

- ・九州北部豪雨災害への対応
被災世帯への市独自の支援策の実施や災害見舞金支給水準、対象の拡充ならびに撤去される堆積土砂の有効利用について。
- ・電算システムの管理
本市電算システムでの個人情報漏洩防止策への取り組みについて。
- ・社会福祉法人への指導監査
下水道使用料免脱行為を行った社会福祉法人への処分のあり方について。
- ・上下水道総合管理システム開発
新システム開発遅延に伴う現行システム継続運用にあたっての費用見積について。
- ・水道事業決算
水道事業経営状況の実態を反映した料金設定のあり方について。
- ・平成23年度決算審査全般
新たな財政需要の予測や事業の選択と集中のための基礎データの集積及び分析の必要性や監査委員の指摘並びに各種決算資料の提出のあり方について。



予算決算委員会の審査の様子

※予算決算委員会の模様は委員会会議録及び熊本市議会ホームページの議会中継をご覧ください。

用語解説 ※5 財政指標 決算を使って財政状況を示す数値。

※6 健全化判断比率 地方自治体の財政が健全化どうかの目安となる指標。